

黒松

皇居前広場には、およそ 2,000 本のクロマツが植えられています。美しく並んだクロマツは、皇居外苑の中でも、写真撮影の名所のひとつとなっています。

皇居前広場はかつての江戸湾の入江でしたが、巨大な江戸城とその一帯の拡張のために 1593 年に埋め立てが行われました。築城前、海岸線はクロマツで覆われていたと言われています。現在見られるクロマツの植栽は、1888 年に開始されました。庭師の手作業による丁寧な剪定と世話のおかげで、今も生き茂っています。緑豊かな広々とした皇居前広場は、都心において屋外でリラックスできる人気スポットになっています。